

事業評価シート

担当課長：大気環境課長

事業名	PM2.5自動連続測定器による通年データの収集・精度向上
上位施策名	大気環境の保全 ((5) 大気環境の監視・観測体制の整備)
1 事業の概要	<p>浮遊粒子状物質（SPM：粒径10ミクロン以下）については環境基準が設定されており、全国の大気環境測定所においてモニタリングを実施しているところであるが、より粒径の小さい粒子状物質（PM2.5：粒径2.5ミクロン以下）と健康影響との関連が懸念されてきている。大気中におけるPM2.5濃度は、地域や季節によって大きく変動することから、人への曝露評価や環境基準設定を的確に行うためにPM2.5の測定機器を設置し、年間を通して広範な地域の測定データを蓄積するとともに調査結果がまとまり次第公表する。</p>
2 進捗状況	<p>このため平成12年度から、PM2.5測定装置を12箇所の一般環境大気測定所、自動車排出ガス測定局に設置して通年測定を行い、環境基準設定に向けて必要なデータの収集、測定機器の特性、精度向上のための維持管理方法等の検討を行っている。平成12年度データについては現在解析中である。</p> <p>平成13年度以降も引き続き測定を行っていく予定である。</p>
3 評価	<p>近年、PM2.5と健康影響との関連が懸念されているが、現在、PM2.5は環境基準の項目でなく地方公共団体は測定義務がないため、国がPM2.5を測定する必要がある。</p> <p>PM2.5の測定・評価手法等については、未だ完全に確立されていないために、数年分のデータの蓄積、判断材料が必要。</p>
4 予算事項名	・大気汚染監視測定網整備運営
5 対応副施策等	